

「パンの美々」基金
世界で癒しのキルトと評価された山口怜子の日本キルト流域の祭典



家族が袖を通した衣類の思い出をお母さんが一本の針で綴った 手の間のアート

主催 NPO法人Fu-sus21
理事長 斎藤 浩

事務局 「パンの美々」プロジェクト
大分県玖珠郡九重町町田3229-300



山口怜子の日本キルトは、筑後川流域の酒蔵母屋で誕生して55周年を迎えました。その記念イベントとして、チャリティ・キルト展を150km流域5ヶ所において約1ヶ月間、同時開催いたします。文化庁が文化財の活用を推進する昨今、会場として、流域の有形文化財として登録された豪商たちの住居跡での展示会開催を企画しています。
また、併設して親子の流域オーガニックマルシェを催し、会場ごとに特色ある出店者が手作りのオーガニック商品を販売いたします。

【イベント主催】
NPO法人 Fu-Sus 21
理事長 齋藤 浩

チャリティ・キルト展

流域が誇る有形文化財の歴史的建造物に、日本の室礼を伴い、会場ごとのテーマをキルトで表現します。
なお、キルト展入場券の収益は、当NPO法人の慈善活動である「パンの美々」基金として、流域の子どもたちのために活用させていただきます。





チャリティ「パンの美々」構想

山口怜子のチャリティ・キルト展

10/8~11/6 流域5ヶ所同時開催
各会場のテーマごとに20~50展を展示

- ❖ 流域文化財邸宅の展覧
- ❖ 商工会女性部オーガニック新商品発表



入場料を
活動資金に



流域オーガニックマルシェ

○10/8 玖珠 ○10/15 日田 ○10/22 うきは
○10/29 久留米 ○11/5 柳川
各会場で地域の出店者約50店舗
地域の手作りオーガニック商品販売

- ❖ 子どもたちのプラスバンド
- ❖ 子どもたちの商い体験



「パンの美々」基金

地域の未来を育む子どもたちに住民の応援を

子どもたちを見守る住民と自治体が歩み寄り、流域の食と豊かな精神の一本化を目指した、
流域のお母さん方の願いでスタートしたプロジェクトです。

- ❖ **パンの美々houseの設立**
地域の高齢者による子どもたちの放課後居場所作りと相談支援を。
- ❖ **「流域の名コック」の出版**
子どもや高齢者による料理本を寄付金で出版。(売上金は著者に) 夢をかなえる成功体験と「生きがい」を。



イベント概要 (予定)

【山口怜子のチャリティ・キルト展】

開催期間: 2022年10月8日(土) ~ 11月6日(日) 流域5ヶ所同時開催

入場料: 一会場あたり1000円 全日程共通券: 4000円

キルト展示 テーマ	場所	会場候補地	マルシェ 開催日	マルシェ プラスバンド演奏
童 作品 30点	玖珠町	❖荒木家住宅 (国指定有形文化財)	10/8 (土)	九重玖珠吹奏楽団 玖珠美山高校吹奏楽部
都 作品 20点	日田市	❖咸宜園跡 (日本遺産認定第1号) ❖後藤家住宅 (登録有形文化財)	10/15 (土)	日田林工高校吹奏楽部 藤蔭高校吹奏楽部 日隈小学校金管バンド (全国大会九州代表)
匠 作品 40点	うきは市	❖居蔵の館 (歴史的建造物群) ❖鏡田屋敷 (歴史的建造物群)	10/22 (土)	朝倉高校吹奏楽部 朝倉東高校吹奏楽部
織 作品 50点	久留米市	❖山口酒造 (天保三年創業)	10/29 (土)	信愛短大吹奏楽部 三井中央高校吹奏楽部
雅 作品 30点	柳川市	❖柳川藩主立花邸 御花 ❖吉原家住宅	11/5 (土)	柳川高校吹奏楽部





山口怜子の歩み

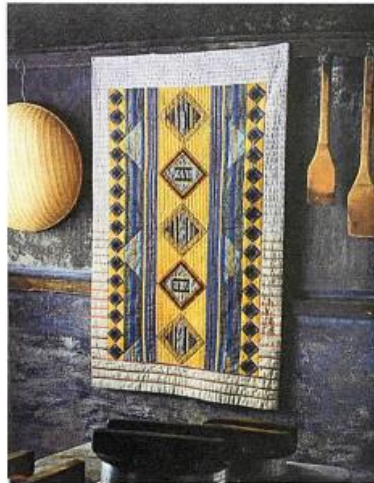
筑後川上流で一村一品を推し進めた父、矢幡治美と、母、美貴子の次女として誕生。

久留米の酒造場10代蔵元に嫁ぐ。酒蔵で用いた酒袋や蔵男たちの絣布団に興味を持ち、義母の昔話をヒントにキルト作品として

「いにしえ」の世界を表現。米国領事館関係者が来訪の際に、そのキルトをおもてなしとして使ったところ大変気に入られ、後に米国東部のご婦人たちに噂が広がった。時代はオイルショックの不況だったにも関わらず、大勢の女性から寄付が集まり、日本からキルト世界大会に招待される。大会に持参した作品9点は、人気投票ですべての賞に輝き、その様子は現地の新聞でも報じられた。以後、世界中から招待されるようになり各地でキルト展を行う。

1982年から約30年間、日本の親善大使としてキルトを使っての国際文化交流の推進に努める。同時に世界各地で子どもたちのための慈善活動を行った。

今年55周年を迎えたキルト展は、「パンの美々」基金として、身近な子どもたちと共に活動が続けたいと、山口怜子は語っている。



～略歴～

- 1944年 大分県大山町生まれ。
- 1966年 江戸天保三年創業、庭のうぐいす酒造10代蔵元に嫁ぐ。
- 1970年 尺貫法を用いてパターン作成。日本キルト創立
- 1982年 米国キルト連盟より招待展
ブルーリボン賞3点。部門別最高賞9点受賞。
- 1983年～ 世界各国との国交で日本キルト大使の役目始まる。
- 1986年 温泉地熱利用の料理研究所設立
- 1990年～ 朝日新聞社主催で全国巡回展「山口怜子の世界」開始。
- 1992年～ 日中・中日国交正常化で人民大会堂・革命博物館にて招待展
- 2002年 イタリアスローフード協会より世界の食の大会で授賞式に招待。
- 2007年～ NHK主催東京ドームにて招待展。秋篠宮様の案内役。
BSにて「家族を綴る山口怜子の日本キルト」放映。
- 2021年まで、国内外において多数の受賞の栄誉を得て現在に至る。